

平成30年 1 月 2 2 日

議会報告・意見交換会報告書

天童市議会議長 赤塚 幸一郎 様

代表者 遠藤 敬知
班 員 三宅 和広
" 伊藤 和子
" 伊藤 護國
" 後藤 和信
" 狩野 佳和
" 村山 俊雄



議会報告・意見交換会を開催したので、その概要を下記のとおり、報告します。

記

1 日 時	平成29年11月29日(水) 10:00~12:00
2 会 場	長岡よつば第二児童クラブ
3 欠 席 議 員	なし
4 参 加 者 数	20人
5 報 告 内 容	平成29年6月から10月までの間に議会で特に議論となった話題等について
6 意見交換の内容 (議会・議員及び市政 に対する意見、提言、 要望等)	<p>はじめに、天童市学童保育連絡協議会から天童市の学童保育の現状について説明があった。</p> <p>1. 児童数46人以上の学童保育所が約半数(11か所)あり、早急な分離分割が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度、児童増対策として市で整備してくれた「ユニットハウス」は暑さ、安全性、衛生面、騒音など様々な課題がある。・入所率は年々上がってきており、特に、長岡、寺津、津山地区では入所率が高い状況にある。・市で31年度までの5か年計画を立てた。29年度は986人と見込んだが実際は1,092人で、112人が見込みより多かった。「おおむね40人以下」は運営側の努力だけでは達成できない。 <p>2. 放課後児童支援員が不足している。</p> <ul style="list-style-type: none">・開所時間内は支援員を必ず複数配置(内1人は有資格者)となっている。質を確保する上でもせつかく作った基準を崩すこと

は避けたい。

- ・市報に掲載してもらったり、市主催の就職ガイダンスに参加させてもらったりしているし、処遇改善に市からも積極的に取り組んでいただいているが、条件整備が求められる役割の大きさに追いついていない。
- ・処遇が統一されていないために、統一した求人ができない。

3. 諸帳簿類の整備について

- ・市単独事業で1か月 86,400 円の運営支援加算をいただいているが、事務職員を雇うまでには至らない。

4. 保育料、指導員の処遇等を統一したい。

- ・開所日、開所時間、保育料、指導員の処遇、会計システム等は、市内である程度統一していきたい。市では「市として一方的に指導するようなものではなく、市連協でまとめてほしい」とのことであるが、寒河江市では市が入って話し合いを始めている。市の担当課とともに、市内の学童保育所のモデルを作っていきたいと考えている。

5. 大規模・児童増について

- ・長岡よつばでは、第一学童82人、第二学童75人と基準を大幅に超えている。ガヤガヤで指導員の目も届かない。うるさに慣れっこになっている。静かな環境で生活をさせたい。地域の方と協会長名で市に要望書を出した。建物については予算化してもらい、第3学童をお願いしたい。

また、指導員確保に苦慮している。指導員も研修をして頑張っているので処遇改善をしてあげたい。

- ・南部地区では、南部地区4学童に205人が入所している。南部小の34%が利用している。第4学童を作っていたが、31年度に小学校児童数がまた増加する見込みである。

7月に南部地域学童保育懇談会を開いて、地域の方に現状を知ってもらい、まちづくり懇談会で話していただいた。市長・教育長も心配してくださった。南部地区として南部公民館長の呼びかけで「南部第5学童検討会」を開催したり、民生委員の会で空き家情報の協力をいただいたりしながら、10月17日に要望書を提出した。この際40人規模がなぜ必要かという事例も話させていただいた。いい環境にするために、第5学童をお願いしたい。

- ・中部地区では、平成27年に中央第4学童を開設してもらったが、50人以上の学童が3か所になり、200人を超えている。1年生の約半数が学童に入っており、また、1人親世帯も年々

増加している。保護者から「人数が多く子ども同士でも名前が覚えられない」「陣取り合戦のようだ」との話が聞かれる。落ち着いた生活ができない状態である。

7月の中部地域懇談会、11月の中部地域社会福祉協議会理事会の場で現状の説明をさせていただいたところ、要望書を出していただける予定となった。高揃地区のような公的な施設内への公設での単独専用施設を希望している。

6. ユニットハウスについて

- ・津山地区では、4月にプレハブのユニットハウスを既存の施設に廊下でつないで30人規模のプレールームとして使用している。分離したかったが、支援員が確保できなかった。冷房・暖房の効果があまりない。全面がガラスの窓で危険である。10月に子どもが怪我をしたので、保護フィルムを貼った。ユニットハウスと建物をつなぐ廊下のつなぎ目から雨漏りがしている。長期休みの時の一時保育が10人程おりこれを入れると74人になる。ユニットハウスは安全・安心に暮らせるようなものではない。
- ・成生地区の第二学童のユニットハウスはどこかで使ったものを再利用しているようだ。2つの学童は保育料も同じ、場所も同じで、子どもの分け方にもたいへん苦慮した。ユニットハウスで過ごす児童の保護者から苦情がある。玄関にひさしが無いために雨の時にずぶぬれのまま入らなければならないし、天井が低く声が響く。強い風雨の時に雨漏りがする。夏は暑く、冬は結露が心配。ユニットハウスは子育てする環境ではない。今後建てる際は本建築をお願いしたい。

7. その他

- ・千布地区では、家に帰っても遊ぶ相手がいないために学童に入る子どももいる。当初60人を見込んだが50人に落ち着いた。理由としては、入所児童が多くなり敬遠されたり、先生が大変そうだから行かなくてもいいと遠慮していることが考えられる。

引き続き意見交換を行った。	
出された意見等	当日の回答
<p>(議員)</p> <p>ユニットハウスについて、今のままで5年間過ごせるのか、新しい建物を望むのか。</p>	<p>(参加者)</p> <p>津山・・・市から5年間の状況を見ながらと言われている。本来は分離したいところだが、支援員不足で分離は難しい。H30年は6年生の卒所1人であるのに対し、1年生13人の入所希望があり、74人になる。市の臨時職員の不採用者からまわしてもらえないか。</p> <p>成生・・・本音は新しくしてもらいたい、5年間は住みやすいように工夫してやっていきたい。支援員から不満が出ないように第1と第2で毎年メンバーを入れ替えながらと考えている。市がすぐに対応してくれてありがたい。その努力は分かるので、子ども達に不便をきたさないようにしていきたい。</p> <p>南部・・・早急に対応していただきありがたい。市長からは「5年間は」と言われているが、どんどん増えていく状況であり、また、子ども達に不公平感もあるので、新しい施設をお願いしたい。</p>
<p>(議員)</p> <p>支援員が足りないのはすべての学童においてか。</p>	<p>(参加者)</p> <p>すべてではないが、季節的にはすべての学童で不足している。また、表面上は満たしているように見えるが、潜在的に不足していると考えられる。</p>

	<p>(参加者)</p> <p>児童に関わる仕事であり、発達障害の子などもいて、誰でもいいというわけではない。パートさんの多くは女性であり、夕方働けないこともある。平日は何とかなるが、長期休みには困難。障害児加配も手帳を持っている子よりグレーゾーンの子が多くなっている。障害児加配ができるのに支援員がいないためにもらえなかった所がある。</p> <p>(議員)</p> <p>天童市ではグレーゾーンの加配に対する加配について、寒河江市のように支援対象を広くする取り組みをしているか。</p>	<p>(参加者)</p> <p>天童市では療育手帳があることと、診断を受けていることに限定されているが、グレーゾーンの加配については市で個別相談を受けている。</p>
	<p>(参加者)</p> <p>学童は学校と違い校長、教頭、事務員もいない。正職2人とパート7人で打合せもできない。支援員が嫌になってしまうのではないかと心配だ。週に1回でもいいので支援員のメンタル面の相談をしてくれる人が常駐するようなことはできないか。協会長や役員はボランティアでやってもらっているが、ボランティアに頼りすぎである。例えば運営に責任を持てる人に週1回お金を払って常駐してもらおうようなことはできないか。</p>	<p>(議員)</p> <p>天童市は進んでいる。天童市のような運営委員会方式で市全体が連携しまとまっているところはない。協会長さんなどの方から無償のボランティアで協力していただき、父母と支援員と一緒にやってくれている力は大きい。</p>
	<p>(参加者)</p> <p>せっかくのいい人材も生活設計ができないとやめていく。男性支援員も生活設計ができる待遇にしたい。学童の収入は保育料と</p>	<p>(議員)</p> <p>処遇改善が難しいのは分かったが、開所時間などクラブによってバラバラであり、統一することも大事な要因ではないか。市連協</p>

	<p>委託料になるが、入所児童数に左右される。保育料を上げるわけにはいかないので、安定的な収入源を確保するために委託料を増額してほしい。</p> <p>(参加者)</p> <p>支援員の確保が難しい。手は尽くしたが他に探す方法を教えてほしい。3年で辞める市の臨時職員に声がけしてもらえないか。</p> <p>(参加者)</p> <p>それぞれの学童で歴史や人数に違いがある。</p> <p>支援員の資質が高いと子どもが行きたいと思える施設になるのではないか。地域の中で子育てできる環境は行政の責任でやるべきである。国の予算だけではなく市として独自のもので、保育園と同じくらいの支援を行う必要があるのではないか。学童の支援員の処遇が保育園の保育士と同じくらいのものでなければ、学童の支援員になる人はいないのではないか。</p>	<p>で話し合いをして統一化を図る必要がある。寒河江市のように市に話し合いに入ってもらって知恵を出してもらうことは可能ではないか。議員からも声掛けしたい。</p>
<p>7 所 感</p>	<p>天童市での学童保育に関わる問題点を理解することができた。今後、具体的に取り組むことができることもあり、参考にしていきたい。</p>	